



会津若松

市政だより

昭和26年7月6日 第三種郵便物認可

140号

昭和37年12月10日発行
発行所 会津若松市
発行人 桜木 幸次
編集 広報係
定価 5円

人口動態 (11月1日現在)	
世帯数	21,938 (+29)
総人口	100,565 (+179)
男	47,790 (+100)
女	52,796 (+79)
転入	400
転出	338
婚姻	43
離婚	7
出生	190
死亡	73



12月のメモ

今月の写真

めぐる年とはいえ 師走のまちには
寒い風が吹く
人々は暮れの出荷に追われ
子供も見かねての手伝いか
こうしたまちの表情にも
なんととはなく 気ぜわしい
年の暮れである。

1日～2日	発明工夫展会展津若松地区予選	公民館
2日	午後1時～4時 文化会議	公民館
4日	午後1時30分 民生委員新任協議会	公民館
7日	午前10時 優良児表彰式	市会議室
21日	午前9時～午後5時 歳末助け合い演芸大会	市民会館
22日	午後5～9時 クリスマス音楽祭	市民会館
23日	クリスマス会	賀茂公民館
15日～25日	巡回映画と座談会	各学区
15日～1月13日	第5回青年学級	公民館

暮しのおり

十月は犯罪の月といわれていますが、特に年暮らしいやぶこみ、それにスリやおいはきが目立っていますので、とくに気を付けましょう。

子どもたちの冬休みの月でもあります。冬休みは年末年始という特別な時期にまたがりますので各家庭では特に子どもに関心を持って下さい。なにかと忙しな時期ですが、父母はいろいろしがちな態度で子どもにあたらないようにしましょう。そのほか一家のつづみ時間をつくらせよう。年末の忙しいときなど、子どもの能力にあわしい仕事を与え働く喜びと自信をもたせるようにして下さい。また外出するときには、だれとどこへ行くかを必ずきりさせ、帰宅時間を知らせるようにしましょう。

かぜの流行する時期ですが、かぜの予防は、普段から積極的にして下さる。少しづつ冬の寒さにあっても容易にかぜをひかないように、皮膚をきたえること。よく戸外で遊ばせ、日光に当て、乾布摩擦や冷水うがいの習慣をつけること。またあまり厚着をさせないことなどが大切です。寒いからといって着せこめのは時代おくれです。厚着は汗をかきやすく、かえってかぜをひきます。かぜをひきに抵抗するものは、からだの免疫にありますので、寒いときは特に、タンパク質や脂肪、ビタミンA・Dの摂取にも気を配りましょう。外出のあと、必ずうがいする習慣をつけるなども、なんでもよいことのようにですが、大変重要な冬の病気の予防法だとも思われます。

昭和36年度一般会計歳入決算一覧表

款	最終予算額	決算額
1.市税	413,296,250	431,050,885
2.地方交付税	70,515,000	78,741,000
3.公営企業収入	12,759,750	13,100,230
4.分担金及び金	3,527,120	3,464,247
5.手数料収入	28,499,560	31,081,947
6.国庫支出金	130,283,780	127,282,243
7.県支出金	47,165,420	66,658,658
8.寄附金	5,587,600	5,456,155
9.繰入金	2,147,900	2,147,902
10.繰越収	39,837,150	39,837,154
11.雑収入	50,117,210	44,934,050
12.市債収入	77,400,000	77,400,000
歳入合計	881,135,740	921,154,471

昭和36年度決算

7千3百万円の黒字

諸経費の節減など
大幅に伸びた歳入

昭和三十六年度の予算をどのように使用したかを示す決算がこのほどまとまりました。一般会計歳出決算額八億四千七百八十余万に對して歳入決算額九億二千二百四十余万で、差引約七千三百萬円の剰余金が生じ去年に引続き市の財政は黒字で、現在市議会の常任委員会において審議中です。

昭和三十六年度の予算編成にあたっては、新市建設五ヶ年計画にも別な決算額は次のとおりです。

合理的な支出で
健全財政を貫く

とづく投資的経費を積極的に計上するにともなう消費的な経費をできるだけおさへ、その仕事にあたっては経費の効果的な使用により着実に実施いたしました。また行政施策として実施しました事業は、多年の懸案でありましたし尿処理場の建設に着手したほか、義務教育施設の整備、さらには住宅難の緩和対策としての住宅建設、不良住宅解消のための改良住宅建設など、主なものであります。

土木

▽駅前広場拡張事業
一、六四七、〇〇〇円

▽道路新設事業
七、五八、〇〇〇円

▽水泳場施設整備事業
一、八、七、〇〇〇円

▽教育
▽城北小・大戸小学校改築
三、七八六、〇〇〇円

▽溝中・第一中・第三中学校増築
一、〇、六四六、〇〇〇円

▽第二中学校改築
一、七九三、〇〇〇円

▽社会および労働
▽労働費（失業対策費）
一、八七六、〇〇〇円

▽公営住宅建設
四、一四〇、〇〇〇円

衛生

▽改良住宅建設
四四、五、〇〇〇円

▽尿消化装置整備事業
一、六六八、〇〇〇円

▽農政
六、五八八、〇〇〇円

▽新農村建設事業
六、五八八、〇〇〇円

▽商工
二、九五八、〇〇〇円

▽中小企業振興費
二、九五八、〇〇〇円

その他
有商農業を推進するための雌牛種牝豚の貸付八十六万円、生活困窮世帯にたいする生活保護費約四千三百万円、児童福祉法にもとづき児童福祉施設に入所する児童の措置費約一千三百七十万円など教育福祉、土木建築、産業経済およ

昭和36年度一般会計歳出決算一覧表

款	最終予算額	決算額
1.議会費	18,734,560	18,496,010
2.市役所費	202,908,100	201,927,150
3.消防費	30,294,500	29,684,817
4.土木費	62,556,370	62,278,468
5.教育費	153,301,373	151,596,565
6.社会福祉費	150,944,560	148,617,636
7.保健衛生費	50,036,050	40,173,400
8.産業経済費	50,489,560	49,636,710
9.財政調査費	54,883,410	54,374,697
10.統計費	1,044,280	981,983
11.財産管理費	4,645,260	4,599,374
12.統籌公債費	39,205,080	39,204,812
13.諸支費	55,893,170	46,276,854
14.予備費	6,199,467	0
歳出合計	881,135,740	847,843,476

か、歳出面では経費の節減などにつとめた結果によるものです。このように昭和三十六年度の市財政は合理的な使用がなされ健全財政を計った結果でありまして、市政の健全な発展が見られたのです。

全会津観光と
物産展終る

十一月九日から十四日まで東京の東横百貨店で開かれていた「全会津観光と物産展」は連日盛況のうちに終り、入場者延二千一万、総売上約千三百萬円の好成績をおさめ予想どおり「会津」の観光宣伝に大いに成果をあげました。今回は今年よりさらに売れゆきが伸びて食料品五百四十二万円、雑貨二百四十九万円、食器（会津茶屋）百七十七万円、特別注文三百二十万円の完成額でした。ここで特筆すべきことは、前回までは在京会津人、福島県人がその入場者の七〇%を占めていたが、今年は東京府民が入場者の七〇%を占めておったこと、今後に大きな期待がもてよう。

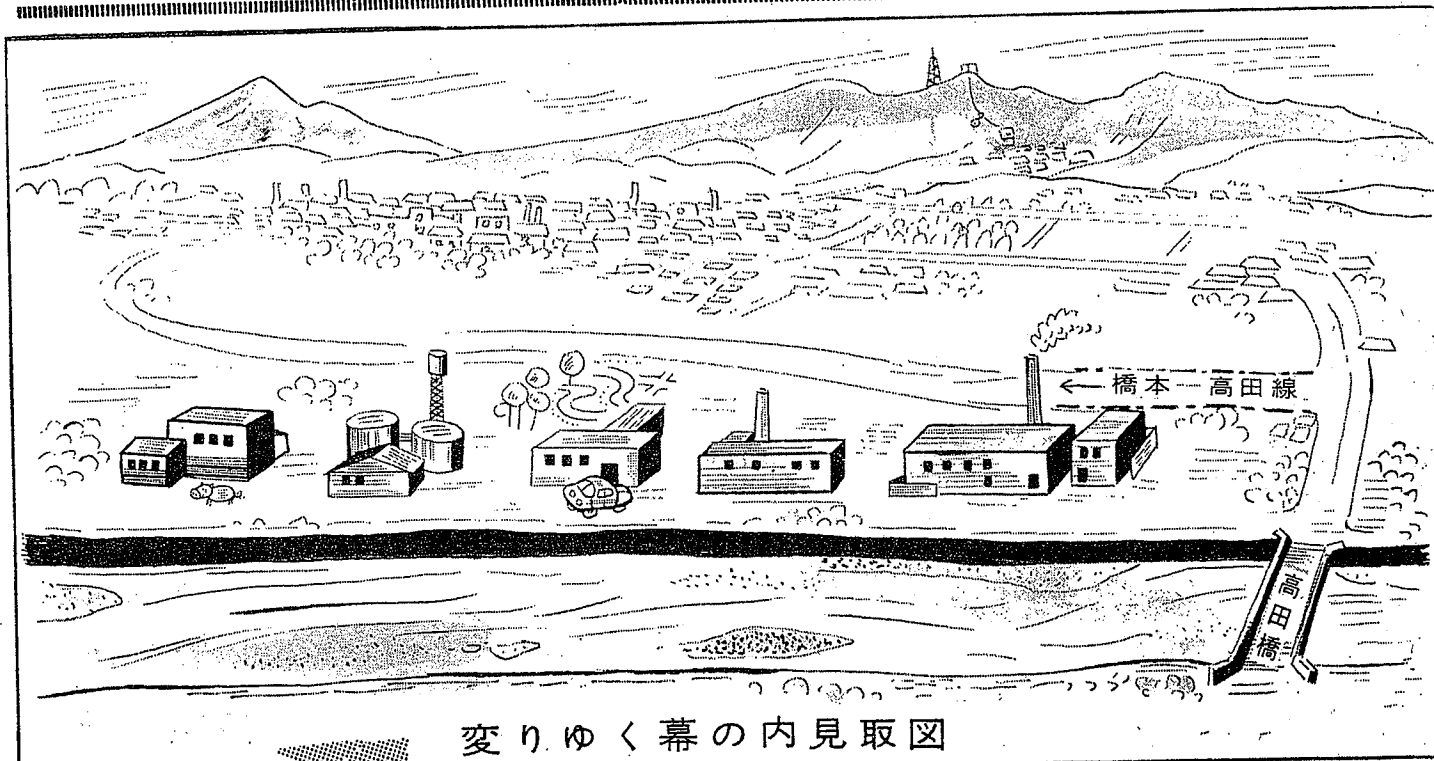
（問）市で行なっている奨学資金の貸与を受けたらと思うんですが、その貸与資格などをお知らせ下さい。（一父兄）（答）奨学資金は次の要件にならなければならない。一、会津若松市に保護者と共に引続き一年以上上住所を有すること。二、高等学校に入学が決定し、品行が正しく、学術に秀れ、身体が健康であること。

奨学資金を
受けたいが

三、経済的理由により修学困難資金の貸与を受けようとする方。奨学資金の貸与を受けるには、奨学生推薦書（市教育委員会にあり）を在学する中学校長から市の教育委員会に提出すればよい。奨学生決定は教育委員会が決定し、中学校長から本人に通知いたします。（教育委員会事務局）

十一月のあしあと

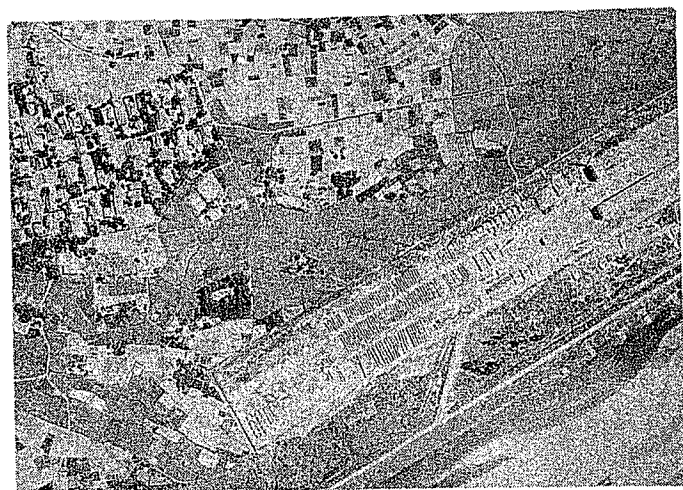
- 2日(金) 会津駅伝 第十七回会津一周(六七、六キロ) 駅伝競走は高校九チーム、一般九チーム、計十八チーム、高校では猪苗代高校、一般では市川金剛チームが優勝した。
- 3日(土) 文化功勞表彰式 本年度の文化功勞者は郷土史家山口孝平氏(六十六才)が選ばれ、市民会館で表彰式が行なわれた。
- 5日(月) 消防団秋の検閲式 市営フットボール場で行われ、同員は横山消防長の検閲を受けたのち消防協力者を表彰した。
- 17日(土) 一箕分館の落成式 市内でもっとも活発な公民館運動を行ない、同地区民の要望で木造モルタル二階建て、一般事務室のほか大集會場などが出来た。
- ▽優良子供会表彰 市民会館、市子供会連絡協議会は八つの子供会と指導者十人などを市民会館において表彰した。
- 20日(火) 門田農協事務所落成式 工費二百六十万円でモルタル二階建ての事務所が完成し、落成式が行なわれた。
- 22日(木) 若松遺族会で敬老会 市民会館において同会主催の敬老会を行ない、七十才以上の該当者に記念品が贈呈された。
- 27日(火) 会津若松ろう学校落成式 一箕町鶴賀地内に鉄筋コンクリート一階建て普通教室十七、特別教室六の新校舎が完成した。



変りゆく幕の内見取図

会津若松も造る

開発される幕の内



空から見た幕の内の一部

近年会津若松市の急速な発展によりその表情を変えているのは指町幕の内ということができよう。昭和34年ハードボード工場の誘致に成功して以来、ここ幕の内は年々その姿を急速に変えて来ました。現在、ハードボード工場、ブナ加工工場、自動車学校などがすでに建設され、目下、し尿処理場、食肉センターなどが建設されようとしています。急速な公共施設の建設は、新しい会津若松市の姿でもあります。そして、この地域の交通対策として、市土木課では新しい道路—橋本—高田線の建設をいそいでいます。昭和43年までの事業として目下、540メートルが完成しています。このように近年、新しく姿を変えてきている幕の内は会津若松市の新しい顔になりつつあるのです。

食肉センター 昭和37、38年度の両年度にわたる継続事業、今年度は1,730万円で工事が行われる。近代的な設備と完璧な衛生施設は会津地方の食肉ターミナル的存在として大いに期待されている。

自動車学校 本年8月開校、県下唯一の市営自動車学校であるばかりでなく、福島県公安委員会の指定校でもある。敷地面積26,354平方メートル、コース面積18,312平方メートル、建物面積596平方メートル、自動車備付台数19台。その近代的な設備に加え、知識と経験に富んだ指導陣は、決して他の追従を許さないものがあり、注目を集めています。

し尿処理場 総工費1億1千万円を投じて目下建設中である。1日の処理能力90キロリットル、最優秀設備を備え、その操業が期待されております。完成は来年度です。

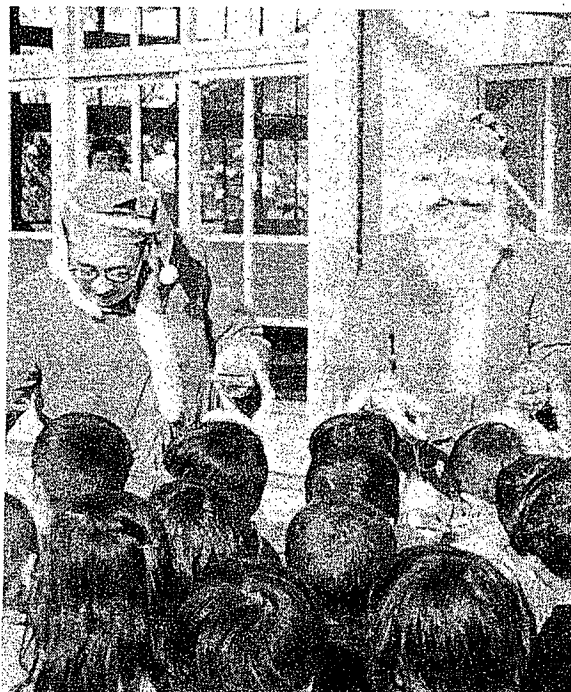
◀ 原動機付自転車の標識が替わっております ▶

原動機つき自転車の標識切り替えは本年6月1日から新標識に切り替えてまいりましたが、まだ相当数が切り替えを終わっていませんので、切り替えの終わっていない方は、早急に旧標識、交付証明書、及び印鑑等御持参の上、税政課庶務係までおいで下さい。なお、現在使用している車の名称、型式、車体地号、認定番号をメモしておいで下さい。

又、バイクに標識をつけたまま業者にしたりスクラップなど、又は故障のまま放置しておいても、廃車申告書、標識交付証明書を提出されなければ、台帳が抹消されませんので、課税の対象となり、当然軽自動車税が課税されますので、心当りの方は正式に廃車の手続きをして下さい。

歳末たすけあい運動

みんなで明るいお正月を



十二月というあたたかきの中であつて、町には暮の気分がみなぎりみんながそれぞれの生活に忙がしく過ごしています。こうしたなかであつたけれども安定した生活がおくれるように、又年の瀬をひかえて希望ある楽しいお正月ができるようにと今年も「歳末たすけあい運動」が行なわれます。毎年市民のみなさまひとりひとりのささやかな善意が大きな実を結んでおります。

今年新たな企画で

資金造成に漫才大会

だれしもが明るい気分でお正月 二月十一日、午前十時から昼後を迎えることができるように、その三回市民会館でNHK後援の「漫才大会」を開催することになった。昨年は市内各世帯「歳末たすけあい運動」は一日が一戸あたり三〇円位つづつ出さうらな市でもくりひろげられました。この運動によせられたお金、品物ておりましたが、今年は新しいは市内被保護世帯、要保護世帯へ、こころみとして東京から一流芸能市から直接手わたされるものです。その資金造成のため、今年「漫才大会」をおこなうことになつたのです。そのメンバーは司



昭和36年度
歳末たすけあい運動収支決算表

収 入	
区 分	金 額
町内別一般寄附金	377,550
特殊寄附金	118,779
指定寄附金	17,000
県からの配分額	
若松支会の配分金 (147,800)	
県単位配分拠出金 (142,000)	
差 引	5,800
計	519,129
支 出	
区 分	金 額
県単位配分金	147,800
指定特殊寄附金	17,000
物資による配分金	315,200
各施設への慰問金	
養老園 30,200	
山形 30,200	
盲ろう学 8,929	
事務 費	
計	519,129

暖かいおもいやりが

昨年は五十六万円にも

たすけあい運動の目標額は六十万円です。昨年は五十六万二千円の結果でした。昨年の町内別一般寄附金は市民のみなさんの協力により比較的良好でした。又特殊寄附金や、物資によるおくりものも相当数寄せられました。

市内の各小中学校の児童連はおこづかいをためたのをもちより、又一女子中学生はおこづかいの二割をさいて貯金していたものをそっくり届けてくれました。二、三の商店では例年、お金、食糧品、衣類、燃料などを毎年つづけて届け

てくれるのです。ある事業主はこ数年クリスマスつづにのみものない、美田朝刊・夕刊、東和子・西子ともたちの養護施設を慰問し、入子、杉ひろし・まり、浪曲物まぐつやおかし、衣類などをプレゼントして子どもたちに大きな喜びを与えているのです。又東京の一



歳末たすけあい運動に暖かい手を

して年の瀬をひかえてのひととき、で各町内の区長さんを通して町内を満ちたお楽しみ下さい。なお、この入場券は一枚百五十円の予定

で各町内の区長さんを通して町内の手がふしあわせな人々にお正月らしいお正月を迎えさせてくれるのです。また毎年あわただしい年の暮にできるだけお正月に間に合うようにと休日をさいて、各世帯の事情をみながら適切に配分する係員の方々の苦勞も忘れてはならないことではなう。

この運動は今年末までとなりておりますが、前にものべましたように、その造成資金はこれまでの

国民健康保険税第5・6期の納付書が配付に

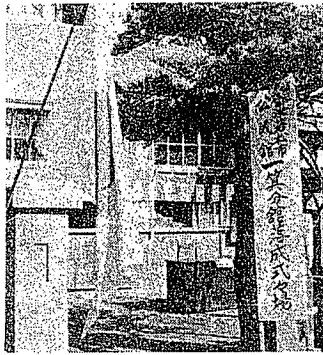
なお、転入したり、社会保険の被保険者資格を失った場合、届け出がなければ、さかのぼって保険税が課税されますから、届け出はできるだけ早くすませるようにして下さい。

一、転入や転居または社会保険を脱退、あるいは加入したとき
二、所得が更生決定してまだ保険税額が変更されていない方。

限、第五期は十二月二十五日に第六期は三十八年二月二十五日になっていきます。なお、次の方々で、まだ社会課に届け出をすませていない方はすみやかに届けて下さるようお願いいたします。

国民健康保険税第五期第六期の納付書が十二月上旬中に配付し終えることになっておりますがもしそれまでに届かない時には、社会課保険税係（電話三、三五〇番）にお問い合わせ下さい。納期限、第五期は十二月二十五日に第六期は三十八年二月二十五日になっていきます。なお、次の方々で、まだ社会課に届け出をすませていない方はすみやかに届けて下さるようお願いいたします。

一箕公民館が落成
会津若松市公民館一箕分館の新築工事は、17日落成式を行いました。
同館は2,775,000円の建築費で、267平方メートルの二階建木造モルタルのモダンなものです。地元の人々は大喜びでした



冬期間は団体貸出

雪のため、あいづね号

今年初めての自「車文庫」 市内百余カ所の駐車場で

動く図書館「あいづね号」が、設け、一グループあたり二〇冊から四月にスタートして以来、今月、三〇冊を駐車場に置いていくものまで利用した。図書館を利用したくとも利用出来なかった新市地区の方々は、この動く図書館がすっかりおなじみ……この八ヶ月の間に図書はおよそ六、三〇〇冊も利用されました。そこで図書館ではこれからの冬期間をさらに読書して頂くため、雪積期の対策を立てました。これは雪のため車が運行出来ないため（十一月から三月まで）個人貸出しをやめ団体貸出しに切り換えるものです。つまり十戸程度を一グループに分けて新市内全域に百余カ所の駐車場を写真Ⅱ好評のあいづね号に集める人々

カメラの目



かわいい訪問客
勤労感謝の日には、幼稚園の園児たちも来館し、お花見をしました。また、合唱練習や、お礼の品を贈り、市長さんとお話しました。市長さんも笑顔で迎えました。

市、教育委員会では、昭和三十一年度の成人読書者対象として、成人文芸作品を募集しております。昨年応募された数は四十八点でしたが、今年度の成人読書者は、新しい門出を記念して、あつて応募されますよう希望いたします。

いままでは感想文だけを募集しましたが、今年度は感想文のほかには俳句、和歌、詩を募集いたします。内容は成人としての門出を迎えるにあたり、過去二十年間の色々な思い出を反省し、民主国家における自由と責任をもった社会人としての出発に対する覚悟と希望を綴って頂きます。

募集締切 十一月十日（日）
原稿用紙を使用して下さい。
応募資格 市内在住の昭和十八年生れの男女
発表 表 十一月十日（木）
入選者には別に通知します。
賞状・賞品授与 昭和三十八年十一月十五日（成人の日）式場で行う。
感想文・入賞編、佳作・五編、俳句、和歌、詩・入賞二編、佳作五編、外参加賞
作品提出先 会津若松市教育委員会事務局 社会教育課宛
なお応募作品は一切お返し致しません。

切は十一月十日まで

成人文芸作品を募集します

このように今年の冬期間の自動車文庫は、冬期間を今までもない新しい計画で進めますのでおおいにご利用下さい。

十一月六日、火曜日より当分の間、開館時間が次のように変更になりました。

お知らせ
図書館利用時間の

十一月六日、火曜日より当分の間、開館時間が次のように変更になりました。

お知らせ
図書館利用時間の

お知らせ
図書館利用時間の

無料法律相談所を開きます

相談の内容によつては、事実をめぐり、なとをお持ちの調査してその解決をはかります。方々士月七日 午前十一時～午後四時 市役所 後援 市役所 内休養室においで下さい。お気軽に相談して下さい。

新年名刺交換会

昭和38年 一月一日正午

日時 昭和三十八年 一月一日正午

場所 市民会館式典 三、四階ホール（祝宴）

受付日 昭和三十七年 十二月十五日 から廿五日まで（厳守）

受付 市役所秘書課 市民相談係 市役所 玄關受付 商工会議所 以上四ヶ所の何れでも受け付けます。

会費 二〇〇円

尚当日の受付はおことわりします

主催 会津若松市・商工会議所・市議会・生活改善推進委員会

